

## 第4回日吉津小学校運営協議会会議録

- 日 時 令和4年12月7日(水) 午後7時30分～午後8時40分
- 場 所 日吉津小学校子ども図書館「まなびルーム」
- 出席者 井田博之(教育長)  
会長：山根直樹(社会教育委員)  
副会長：井藤健志(地域代表)  
委員：伊藤真由(P T A会長)、田辺昌宏(地域代表)、  
吉崎勇(学校支援ボランティア)、兼本修二(学校支援ボランティア)  
石 敬子(学校支援ボランティア)、山路由紀子(保育所所長)  
太田敦弘(小学校校長)、横田威開(教育次長)  
長谷徳子(地域コーディネーター)
- 欠席者 中原昌之(P T A副会長)、立脇賢二(学校支援ボランティア)  
谷口俊則(小学校教頭)

### 1. 開会 午後7時30分から

○司会進行 横田教育次長

第4回日吉津小学校運営協議会を始めます。

### 2. あいさつ

○山根会長あいさつ

みなさんこんばんは。10月に熟議を行い「放課後、休日の子どもの姿」というテーマで話し合いました。今日はそれを発展させて話し合いたいと思います。前回初めて熟議に参加された方も今回はじめての方もおられたと思いますけれども、経験していくうちに熟議というものがどういうものなのかわかってきたように思います。先月、淀江のさなめホールでコミスクの研修会がありました。山口県の萩市の取り組み、鳥取県岩美町の高校の取り組みなど聞きました。子ども達も一緒に参加して熟議をやっているところもありました。当事者も一緒に加わって熟議が出来るのもいいのかなと思いました。平成18年からコミスクに取り組み始めたということで、だいぶ前から取り組まれていました。会議を開いて話し合うのではなく、こういう取り組みが地域にあたりまえのように根付いているのが一番いいなと感じました。自分たちはまだ始まって2年目で、これからいろんなことを取り組んでいくと思いますが、いずれはこれがあたりまえのように地域に根差してくれればいいなと思っています。その土台を私たちでつくっていきましょう。

### 3. 議題

(1) 熟議での提案等の確認について テーマ「放課後、休日の子どもの姿」

○進行 横田教育次長

グループの机に前回の熟議の話し合いの模造紙をまとめたものをのせています。前回

の熟議では活発な意見交流が出来たと思います。今回は「放課後、休日の子どもの姿」というテーマで話し合いました。グループによっては過去の自分の経験を話し合われたところもありました。今日は5つのグループそれぞれの意見を再度、皆さんで確認し合う中で、こういう気持ち、こういう言葉大切だなという言葉を見つけていってほしいと思います。この子どもの姿からある考え方をコミスクだよりで、また各家庭に発信したいと思います。みなさんが選ばれた大切なキーワードであったり、大切な気持ちであったりそういったものをそれぞれのグループで共有しあっていただいて、それを事務局に意見としていただきたいなと思います。

### 【3グループに分かれて話し合い】

○グループで話し合ったこと要点だけでもいいですのでお聞かせください。

○昔は遊ぶための道具づくりから始まっていた。昔より今の親子の方が関りが多いと思う。当時は地域のふれあいというのは、あたりまえのここのようにあった。悪ことをしたら叱られるとか、帰りかけに田んぼとか畑におられる方から声をかけてもらうとか、クワの実を食べながら口のまわりを真っ赤にして帰ったとか、改めて地域のふれあいと考えなくてもそれが当たり前のことだったなという意見が出ましたし、子どもが勝手に出歩いていた時代から、今は、親の許可とか承認があってから遊べる。安全が確保されてからのことかなという意見がありました。それぞれの時代の遊び方があったな。昔は外遊びが多かったけれども今では室内遊びが多いというところで、子どもの見えない姿もあるのではないかということもありました。今の子は昔よりも大人と話すことが上手だったり、多いのではないか。昔はコミュニティのくくりが小さかったかなというところから、今は児童館、学校、学年行事、それぞれの分野でイベントとか行事があって出会いも多く、仲間づくりとかふれあいも多いのではないか。あと大人と子どもの壁を感じない。今の子は話すことが上手からという話ですが、昔は、地域の大人は怖いというイメージがあったが、今の子はそういうことはなくて誰とでも安心して話ができるように感じるという話もでました。以上です。

○本来は、この前の熟議のことを鑑みて話をするべきだったんでしょうが、大いに脱線してしましまして、時系列で話をする、今、家の電話がない家が多くて、子ども同士の連絡をとるのが親のスマホからのラインの友だちのつながりとかになっている。そこは問題だね。おそらくこれから家電は少なくなっていくので、個人と個人のつながりになっていくのかなという気がします。具体的にどうするのかという話まではなかったんですけど、それは流れとしてしょうがないねということになりました。ここから大きく話が逸脱してまいりまして、コロナがもたらした人のコミュニケーションに対する影響というのは、ものすごいものだよという話で、コミュニケーションをとることが、昔はどうだった、今はどうだったということよりも間にコロナが挟まったことで、コミュニケーションをとれなくなったことに拍車がかかってきたねということがほとんどで、コミュニケーションをとる企画をどんどん発信して行って、それがコロナで中止になったりするが、そういうことを出し続けていくことしか方法はないのではないかと

うぐらいが結論らしいことです。遊具とか各自治会にもう少しあった方がいいなという意見もでした。

○なかなかまとまりませんが、キーワードといいますか、大切な項目を話しました。今の子ども達は習い事で忙しそうだなとかスポ少で頑張っている子もいるなというようなことがありました。それから遊ぶ時のことです。昔は誰かが外に出ているので出てみる。縦のつながりの遊びが多かった。今は約束をしてから遊ぶ。その中で、必ず電話をして約束をすとか、学校で友だちと約束をすとか、そういうように約束をしてから遊ぶというような遊び方だとか、親に連絡をとってもらおうということもでした。それから子どもたちの遊びは、ユーチューブを見たり、ゲームを使った遊びとか、前はテレビゲームでスーパーファミコンとか何人かが集って遊ぶ、今はスマホを使って、一人で画面を見て遊ぶという遊び方も非常に変わってきているなということも出ました。

平日だったらほとんどの子が児童館に行っているのではないかということで、児童館に行っていると親も安心、宿題もして、友だちと遊んで家に帰るので安心できる。ほとんどの子が児童館で過ごしているのではないかということもでした。

遊ぶ場所とか、遊具がほしいという意見もあった中で、確かにすべり台、ブランコも大事です。そこで遊ぶんですけど、川とか道とか草とか、昔は遊びを見つけるというか、竹でも石でも草でも遊んでいたけれど、今は遊ぶ場所が欲しい、遊具も欲しいという意見もでているねということ話をしました。

昔は秘密基地を作った。川で遊んだ。自転車でぶらぶらした。竹で遊んだ。と自分の経験を話されたグループもありました。いろいろな遊びが大事だなと感じました。以上です。

○それぞれのグループで出した意見をまとめてみました。なかなかまとまりませんが、皆さんがこういうことを感じているということ。これは学校の先生と地域の皆さんと今子育てをしている保護者など様々な立場にいる方々がいろいろ感じて、子ども達に関わっているんだよと伝えることで、こういうことやってみようかなと考えるきっかけにしてもらえればと思います。それが熟議を通して発信することで、またコミスクだよりで、その考えが広まっていけばなと思っています。まとまってはいませんが、こういった要素をひろいながらコミスクだよりを作っていけたらなと思います。共通するものとしては、変化しているということが確認されたということは共通しているのではないですかね。今の子ども達に昔の良さというか、こういう体験で味わってもらえとか、体験するということが意味があるということがいくつかのグループの中で出てきているので、そういうことをコミスクだよりで発行できたらと思っています。

○トレセンで学校運営協議会主催の大かくれんぼ大会、大鬼ごっこ大会などそういった企画があればなと思いました。何か提供しないとイケない、その中で子ども達が思いっきり遊ぶというような体験が必要だと思ったところです。沖縄の読谷村に子ども達8人と一緒に行きました。その時に子ども達の発案で鬼ごっこをしようということになりました。走り回る、走り回る、本当に楽しそうに無心に遊びました。その中でルールが自然に出来てきたりして、そういう経験が必要なんじゃないかなと思います。

○つながる話だと思いますが、カルチャー土曜塾があるのはありがたいなという意見が出ていたグループもありましたが、1月末に大山青年の家で雪遊びを計画していますが、バスの定員の関係で定員15人で募集したら今日の段階で38名です。ですから子どもも大人も体験活動を求めているなど感じています。コロナの影響だからこそかもしれません。今回つりでも日野川探検でも普通の定期コースでも非常に多く、体験の有難さというものを感じているのかなと思います。

## (2) 学校に対して地域で取り組めること

○進行 長谷地域コーディネーター

○学校に対して地域で取り組めることということで、前回、9月に教頭先生の方から話がありました。3学期どんなことができるかなと小学校の方とも相談いたしました。その中で1年生の昔遊びをやってみたらどうだろうかと話をして、今年度は1年生と昔遊びをしたいと思います。地域で取り組めることということで、広く皆さんに呼びかけてたくさんの地域の方とふれあい、体験遊びをするのがいいと思いますが、コロナ禍、たくさんの地域の方々が学校に集まって活動をするということが難しいです。提案として、学校運営協議会の委員さんと1年生と一緒に昔遊びができればと考えています。皆さんいかがでしょうか。

○皆さんどうでしょうか。

○いいじゃないですか。

○ありがとうございます。時期は2月を予定しています。詳細については、学校の先生と相談しながら進めていきたいと思っています。楽しく昔遊びができればと思います。

○子ども達は地域の方が昔遊びに来られるということで名人が来られると期待をしておりますので、よろしく願います。

○2月で平日になるので、都合がつかない方があると思います。コロナ禍であり、今日も千人を超えました。このような状況の中でたくさんの人が来られるのは避けるということで、委員の皆さんと前回とは違うものに挑戦するということです。よろしく願います。

○現時点で出席できるとか、仕事で無理だとか、ある程度聞いておいた方がいいのでは。

○私は平日仕事です。

○月曜日は都合が悪いです。

○学校の方は遊びの道具はありますか。

○今確認中です。

○私はけん玉なら得意です。

○2月なので、今確実に出れますよということはいえません。

○それではこのような内容で進めたいと思います。よろしくお願いいたします。

### (3) その他

今後の予定

○進行 長谷地域コーディネーター

○今話しまし2月に1年生と昔遊びを行う。これを第5回学校運営協議会とさせていただきますと思います。日にちと時間については、学校と相談して決めたいと思います。

第6回は今年度最後の学校運営協議会です。令和5年度日吉津小学校運営方針の承認について、学校の方から説明があります。3月を予定しています。以上です。

○年度末になりますので、校長先生とも相談しながら、早めに皆さんにはご案内したいと思います。

○コミュニティ・スクールの全国研究大会が来年度米子市を会場に行われます。主催は南部町ですが、会場は米子コンベンションセンターになります。日吉津村にももしかしたら声があるかもしれません。来年は設置してから3年目となります。設置してまだ間もないところが、これだけのことに挑戦して行っているよということは胸を張って出せるなということは思っています。そんな声かけはありませんけれど。全国研究大会が米子市であるということを紹介しておきます。以上です。

○ちなみに去年は3月4日に学校運営協議会を行い、校長先生の話をお聞きました。2週目以降になると予定が入っているので、早めがいいかなと思います。

○おそらく3月の1日、2日、3日あたりの早い段階になってくるのかもしれませんが。

○また調整させていただきます。よろしくお願いいたします。

## 4. 閉会

○井田教育長あいさつ

今日議会での話ですが、教育民生常任委員会の調査報告がありました。内容は小学校の実情を調査するというものでした。結論は、小学校はとても頑張っている。きめ細かな対応で、子ども達はとても効果的に成長しているということでした。これを聞いて議場にいて嬉しく思いました。この学校運営協議会がさらに取り組み、より一層子ども達

の成長に資するようになるといいなと思いますので、また皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。今日はお疲れさまでした。

○以上で第4回日吉津小学校運営協議会を終わります。

午後8時40分